

# 尾張西部地域循環型社会形成推進地域計画

作成日	令和7年11月7日
-----	-----------

変更日	
-----	--

## 1 計画の基本的な事項

### (1) 基礎情報

#### ア. 対象地域

構成市町村等（作成者）名	一宮市、稲沢市					
地域内総人口（人）	510,288					
地域総面積（km <sup>2</sup> ）	193.17					
地域の要件	人口					
離島、豪雪、山村、半島、過疎地域に該当がある市町村名						
地域の要件がその他の場合は具体的に記載						
構成市町村に一部事務組合等が含まれている場合、当該組合の状況						
組合名称 （設立（予定）年月日）						
組合を構成する市町村						
組合設立に関する、今後の見通し						

#### イ. 計画期間

開始年月日	令和8年4月1日
終了年月日	令和13年3月31日
計画期間※	5年

※目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(2) 対象地域における取組みに関する事項

ア. ごみ処理の広域化・施設の集約化の検討状況

愛知県では、広域化・集約化を計画的に進め、循環型社会の実現を図るため、市町村の意見を踏まえながら「愛知県ごみ処理広域化・集約化計画」を策定している。  
 その中で当該地域は、尾張西部ブロックとして位置づけられており、地域内行政区域全域を処理区域として、現存するごみ焼却施設を1施設に統合して整備する計画となっている。  
 現在、一宮市と稲沢市で協議会を定期的開催することにより、令和16年度中に統合すべく協議、立地の選定等を進めているところである。

確認した都道府県の広域化・集約化計画の名称	愛知県ごみ処理広域化・集約化計画（2021年度～2030年度）
-----------------------	---------------------------------

イ. プラスチック資源の分別収集及び再商品化に係る実施内容

実施済の場合	実施地域	
	実施年度	
	実施方法	
	上記が④もしくは⑤の場合、その詳細	
実施予定の場合	予定地域	一宮市（全域）、稲沢市（全域）
	予定年度	一宮市：令和13年度、稲沢市：令和8年度
	予定方法	④市町村・品目により異なる（詳細は下記に記載）
	上記が④もしくは⑤の場合、その詳細	一宮市：令和13年度中に、プラスチック資源の分別収集及び再商品化を開始予定である。（実施方法未定） 稲沢市：令和9年2月から、日本容器包装リサイクル協会への委託を開始し、令和9年4月から環境省の認定（プラ法33条のルート）で実施予定である。
実施しない（予定）地域		
プラ要件化対象事業の実施		○
備考		

ウ. 対象地域における一般廃棄物処理有料化の状況

有料化導入状況	③有料化は導入していない
上記が④の場合、その詳細	
未導入の構成市町村名	一宮市、稲沢市
有料化導入に向けた 検討状況 ※全ての構成市町村で導入 済の場合は記載不要	有料化については、更なるごみの減量化やごみ処理経費の負担の公平化、近隣他都市の状況等を勘案し検討を行う。

エ. 対象地域における災害廃棄物処理計画の策定状況

策定状況	①構成市全てで策定済
策定済の構成市（計画の名称）	一宮市（一宮市災害廃棄物処理計画） 稲沢市（稲沢市災害廃棄物処理計画）
未策定の構成市（策定予定時期）	
備考	一宮市では、光明寺最終処分場、旧尾西清掃事業所ストックヤード、第Ⅱ期分最終処分場用地を仮置場の候補地として設定している。 稲沢市では、須ヶ谷グラウンド、市民球場、西島運動広場、祖父江の森、福島野球場を仮置場の候補地として設定している。稲沢市では、仮置場の不足が生じた場合に新たに候補地を選定する。

## 2 循環型社会形成推進のための現状と目標（一般廃棄物の処理）

### （1）一般廃棄物の処理の現状と目標（全域）

本計画の計画期間中においては、廃棄物の減量化を含め循環型社会の実現を目指し、表1のとおり目標量について定め、それぞれの施策に取り組んでいくものとする。

表1 減量化、再生利用に関する現状と目標		現状	目標	
		令和6年度	令和13年度	現状比
①総人口（人）		510,288	483,663	-5.2%
排出量	②事業系ごみ排出量（トン）	29,175	28,356	-2.8%
	③生活系ごみ排出量（トン）	108,267	92,390	-14.7%
	④1人1日当たりのごみ排出量（g/人日）	487	428	-12.1%
	その他排出量（トン）	4,978	4,617	-7.3%
	⑤総排出量（トン）	142,420	125,363	-12.0%
	⑥1人1日当たりの排出量（g/人日）	765	708	-7.5%
再生利用量	⑦総資源化量（トン）	19,362	18,362	-5.2%
	総排出量に占める総資源化量の割合	14%	15%	
最終処分量	⑧埋立最終処分量（トン）	14,718	12,931	-12.1%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合	10%	10%	
エネルギー回収量	年間の発電電力量（MWh）	45,392	40,768	
	年間の熱利用量（GJ）	16,016	14,359	
特記事項	その他排出量には、脱水汚泥量と集団回収量が含まれる。			

※ 別添資料として①～⑧に関する過去及び将来推計のトレンドグラフを添付する。

《用語の定義》 下記のとおり表1で用いる用語の定義を行う。

②③排出量：対象地域において出されたごみの量（資源含む。集団回収されたごみを除く）〔単位：トン〕 ※事業系・生活系それぞれで記載。
④1人1日当たりのごみ排出量：（生活系ごみ排出量－生活系資源ごみの量）*10 <sup>6</sup> /総人口/年間日数〔単位：g/人日〕
その他排出量：②、③に該当しない排出量〔単位：トン〕
⑤総排出量：②+③+その他排出量の和〔単位：トン〕
⑥1人1日当たりの排出量：⑤*10 <sup>6</sup> /総人口/年間日数〔単位：g/人日〕
⑦総資源化量：事業系の資源ごみ量+生活系の資源ごみの量+集団回収量等の和〔単位：トン〕
エネルギー回収量：エネルギー回収施設において発電された年間の発電電力量〔単位：MWh〕及び熱利用量〔単位：GJ〕
⑧最終処分量：埋立処分された量〔単位：トン〕

予測・目標における数値のうち、②③④が増加予測となるものがある場合はその理由を記載

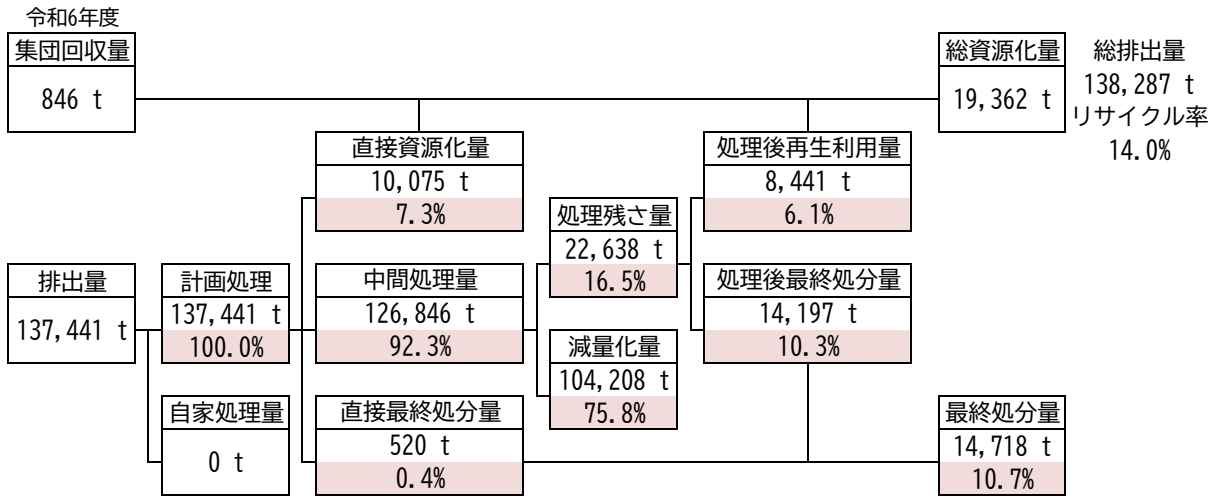
--

一般廃棄物処理計画と目標値が異なる場合に、地域計画と一般廃棄物処理計画との整合性に配慮した内容

一宮市一般廃棄物処理基本計画では、目標年度が令和12年度であり、本地域計画の目標年度である令和13年度の目標値は設定されていないため、令和12年度目標値である「1人1日当たりの家庭系ごみ排出量（480g）」を達成する廃棄物の発生抑制やリサイクルの推進等に関する目標を設定した。

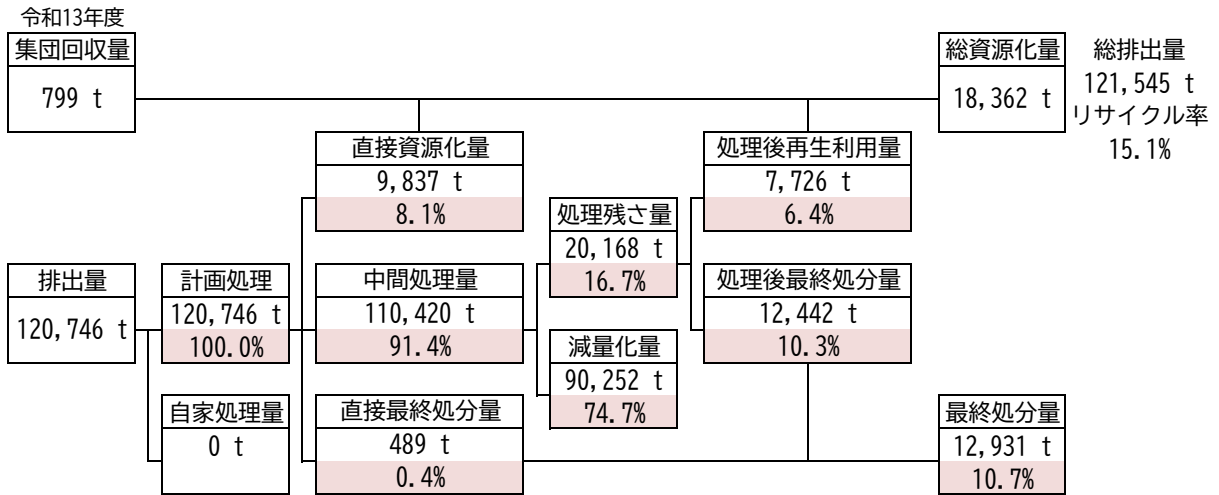
(2) 一般廃棄物の処理の現状と目標のフロー図（全域）

現状の一般廃棄物の処理状況フロー



※端数処理により割合・合計が合わないことがある。

目標達成時の一般廃棄物の処理状況フロー



※端数処理により割合・合計が合わないことがある。

(3) 各構成市町村の一般廃棄物の処理の現状と目標

一宮市		現状	目標	
		令和6年度	令和13年度	現状比
排出量	事業系ごみ排出量 (トン)	22,888	22,367	-2.3%
	生活系ごみ排出量 (トン)	80,720	68,324	-15.4%
	その他排出量 (トン)	2,729	2,539	-7.0%
	総排出量 (トン)	106,337	93,230	-12.3%
再生利用量	総資源化量 (トン)	13,025	12,272	-5.8%
	総排出量に占める総資源化量の割合	12%	13%	
最終処分量	埋立最終処分量 (トン)	11,973	10,527	-12.1%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合	11%	11%	

稲沢市		現状	目標	
		令和6年度	令和13年度	現状比
排出量	事業系ごみ排出量 (トン)	6,287	5,989	-4.7%
	生活系ごみ排出量 (トン)	27,547	24,066	-12.6%
	その他排出量 (トン)	2,249	2,078	-7.6%
	総排出量 (トン)	36,083	32,133	-10.9%
再生利用量	総資源化量 (トン)	6,337	6,090	-3.9%
	総排出量に占める総資源化量の割合	18%	19%	
最終処分量	埋立最終処分量 (トン)	2,745	2,404	-12.4%
	総排出量に占める埋立最終処分量の割合	8%	7%	

### 3 目標達成に向けた施策（一般廃棄物の処理）

#### （1）処理体制

<b>ア．生活系ごみの処理体制の現状と今後</b>
<p>分別区分及び処理方法については、表2のとおりである。</p> <p>現状、一宮市においては、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、空き缶・金属類を一宮市環境センター（ごみ焼却施設又はリサイクルセンター）へ搬入し、処理している。処理の過程で発生した焼却残渣は民間施設で資源化又は埋立処分し、不燃残渣は市が保有する最終処分場で埋立処分している。プラスチック製容器包装及びペットボトルは、民間施設で中間処理した後に、指定法人（（公財）日本容器包装リサイクル協会）へ引き渡しており、その他の資源は、民間の再生利用業者の施設へ搬入され、資源化している。有害ごみは、（公社）全国都市清掃会議等を通して再生利用業者へ引き渡している。</p> <p>稲沢市においては、可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、発火性危険物及び小型家電を稲沢市環境センター（ごみ焼却施設又は粗大ごみ処理施設）へ搬入し、処理している。処理の過程で発生した焼却残渣及び不燃残渣は、民間施設にて資源化又は埋立処分し、プラスチック製容器包装及びガラスびん（その他の色）は、民間施設で中間処理した後、指定法人（（公財）日本容器包装リサイクル協会）へ引き渡している。その他の資源は、再生利用業者の施設へ搬入され、資源化している。</p> <p>今後も、現状の分別区分や処理体制を維持し、ごみの分別強化や減量化についての啓発を継続し、更なるごみの減量化や資源化を進める。</p>
<b>イ．事業系ごみの処理体制の現状と今後</b>
<p>現状、一宮市では、可燃ごみを直接焼却処理しており、稲沢市では可燃ごみは直接焼却処理し、不燃ごみ（剪定枝等）は、破碎後焼却処理している。</p> <p>今後も、現状の分別区分や処理体制を維持し、更なるごみの減量化や資源化を進める。</p>
<b>ウ．一般廃棄物処理施設であわせて処理する産業廃棄物の現状と今後</b>

#### （2）処理施設等の整備

上記（1）の今後の分別区分及び処理体制で処理を行うため、表3のとおり必要な施設整備、表4のとおり計画支援事業等を行う。また、参考として現有施設の一覧を表5で示す。

表2 尾張西部地域各市町村の生活系ごみの分別区分と処理方法の現状と今後

現 状 (R6年度)					
一宮市			稲沢市		
分別区分	処理方法	処理施設等	分別区分	処理方法	処理施設等
可燃ごみ	収(熱回)焼却	一宮市環境センターごみ焼却施設	可燃ごみ	収(熱回)焼却	稲沢市 環境センター (焼却、破碎、選別)
不燃ごみ	破碎・選別・埋立	一宮市リサイクルセンター(破碎・選別) 光明寺最終処分場(埋立)(売却)	不燃ごみ	破碎・立選別・埋	民間施設(資源化、埋立処分)
粗大ごみ			粗大ごみ		
空き缶・金属類	選別・圧縮固縛	委託	発火性危険物	選別・リサイクル	稲沢市 環境センター(選別)
プラスチック製容器包装			小型家電		委託
ペットボトル	リサイクル	委託	プラスチック製容器包装	リサイクル	委託
紙類			ガラスびん類		
布類			ペットボトル		
ガラスびん			紙類		
使用済み植物性食用油			布類		
小型家電			金属類		
有害ごみ	選別・破碎		植物性食用油		
			蛍光管		
			乾電池		
			水銀使用製品		
			羽毛布団		
			インクカートリッジ		



今 後 (R13年度)									
一宮市				稲沢市					
分別区分	処理方法		処理施設等		分別区分	処理方法		処理施設等	
			一次処理	二次処理				一次処理	二次処理
可燃ごみ	収(熱回)焼却	発電	一宮市環境センター(資源化、埋立処分)	民間施設(資源化、埋立処分)	可燃ごみ	収(熱回)焼却	発電	稲沢市環境センターごみ焼却施設	
不燃ごみ	破碎・選別・埋立		一宮市リサイクルセンター(破碎・選別)	光明寺最終処分場(埋立)	不燃ごみ	破碎・立選別・埋	リサイクル・埋立	稲沢市環境センター(破碎・選別)	民間施設(資源化、埋立処分)
粗大ごみ					粗大ごみ				
空き缶・金属類	選別・圧縮固縛		委託		発火性危険物	選別	リサイクル		委託
リチウム蓄電池・リチウム蓄電池使用製品					小型家電				
プラスチック製容器包装	リサイクル		委託		プラスチック製容器包装	再商品化			委託
ペットボトル					ガラスびん類				
紙類					ペットボトル				
布類					紙類				
ガラスびん					布類				
使用済み植物性食用油					金属類				
小型家電	選別		(売却)		植物性食用油				
有害ごみ	選別・破碎				蛍光管				
					乾電池				
					水銀使用製品				
					羽毛布団				
					インクカートリッジ				

表3-A マテリアルリサイクル推進等のための整備事業

事業番号	1				
施設名称	(仮称)尾張西部広域ごみ処理施設(マテリアルリサイクル推進施設)				
事業主体	一宮市				
工種	新設工事				
事業目的 (新設・改良等の理由)	尾張西部地域における、不燃ごみ及び粗大ごみ広域処理のため				
施設種別	リサイクルセンター				
処理方式	未定				
処理能力(単位)	38(t/5h)				
事業期間	R12~R16				
竣工(事業完了)予定年月	R17.3				
設置予定地 ※検討中の場合は「未定」	一宮市奥町字六丁山52番地				
想定される浸水深 ※未定の場合は記載不要	浸水深5.0m				
浸水対策	高上げ、電気設備を2階以上に設置、気密性の高いドアの採用				
環境省所管(循環交付金等)の活用を予定 ※「○」の場合は以下の項目を記載すること	○				
国土強靱化地域計画(計画の名称)	-				
プラ要件化の経過措置の適用	-				
プラ施設整備事業	-				
CO2削減率 ※改良事業の場合	-				
スラグの利用計画 ※灰溶融施設を整備する場合	-				
ストック対象物 ※ストックヤードを整備する場合	未定				
要綱第5の2による交付をうける予定の場合は、施設減少数と対象市町村増加数の合計 ※以下の項目を記載					
本施設整備にあたり廃止する施設(処理対象市町村名)					
広域化・集約化後の処理対象市町村数(処理対象市町村名)					
備考					

表3-C エネルギー回収等のための整備事業

事業番号	2				
施設名称	(仮称)尾張西部広域ごみ処理施設(エネルギー回収型廃棄物処理施設)				
事業主体	一宮市				
工種	新設工事				
事業目的 (新設・改良等の理由)	尾張西部地域における、可燃ごみ広域処理のため				
施設種別	ごみ焼却施設(エネルギー回収あり)				
型式及び処理方式	未定				
処理能力(単位)	392(t/日)				
事業期間	R12~R16				
竣工(事業完了)予定年月	R17.3				
設置予定地 ※検討中の場合は「未定」	一宮市奥町字六丁山52番地				
想定される浸水深 ※未定の場合は記載不要	浸水深5.0m				
浸水対策	嵩上げ、電気設備を2階以上に設置、気密性の高いドアの採用				
環境省所管(循環交付金等)の活用を予定 ※「○」の場合は以下の項目を記載すること	○				
国土強靱化計画への記載 (計画の名称)	-				
プラ要件化の経過措置	-				
エネルギー回収率 ※発電・熱回収がある場合	未定				
余熱利用の計画	未定				
外部供給における利活用の概要	未定				
CO2削減率 ※改良事業の場合	-				
燃料の利用計画 ※ごみ燃料化施設を整備する場合	処理方式未定				
バイオガス熱利用率 ※バイオガス化施設を整備する場合	処理方式未定				
バイオガスの利用計画 ※バイオガス化施設を整備する場合	処理方式未定				

事業番号	2				
施設名称	(仮称)尾張西部広域ごみ処理施設(エネルギー回収型廃棄物処理施設)				
エネルギー回収のありなしに関わらず、焼却施設を環境省所管の交付金等を活用し、整備する場合は下記を記載					
計画1人1日平均排出量(g)	529g				
計画収集人口(人)	475,617人				
計画直接搬入量(t/日)	31.35t				
計画年間日平均処理量(t/日)	283t/日	t/日	t/日	t/日	t/日
通知に基づく施設規模 (計画1人1日平均排出量×計画収集人口+計画直接搬入量)÷実稼働率	356t/日	t/日	t/日	t/日	t/日
災害廃棄物処理計画への受入の記載有無	○				
災害廃棄物処理量(見込み%)	10%				
災害廃棄物処理量を見込んだ通知に基づく施設規模	392t/日	t/日	t/日	t/日	t/日
適切な施設規模よりも大きいまたは小さい施設規模で整備する場合					
要綱第5の2による交付をうける予定の場合は、施設減少数と構成市町村増加数の合計(下記にその詳細を記載)					
本施設整備にあたり廃止する施設(対象市町村)					
広域化・集約化後の構成市町村数(対象市町村)					
備考					

表3-D 廃棄物運搬中継のための整備事業

事業番号	3				
施設名称	(仮称) 稲沢市ごみ 中継施設				
事業主体	稲沢市				
工種	新設工事				
事業目的 (新設等の理由)	ごみ処理の広域化・ 集約化に際し、新処 理施設の建設予定地 より遠方となる稲沢 市の直接持込ごみを 受け入れるため				
型式及び処理方式	未定				
処理能力(単位)	7(t/日)				
事業期間	R15~R16				
竣工(事業完了) 予定年月	R16.10				
設置予定地 ※検討中の場合は「未 定」	稲沢市中野川端町74 番地				
想定される浸水深 ※未定の場合は記載不要	浸水深3.0m				
浸水対策	未定				
環境省所管(循環交付金 等)の活用を予定 ※「○」の場合は以下の項目 を記載すること	○				
国土強靱化計画への記載 (計画の名称)	-				
プラ要件化の経過措置	-				
プラ施設整備事業	-				
関連する広域化・集約化 事業の概要	尾張西部地域におけ る、ごみ広域処理施 設として、一宮市に ごみ処理施設を新設 し、一宮市と稲沢市 のごみを広域処理す る				
施設へのごみの直接持ち 込みの有無	有				
取扱う収集品目	可燃ごみ・不燃ごみ・ 粗大ごみ・発火性危険 物・小型家電				
備考					

表4-1 施設整備に関する計画支援事業等

事業番号	①	②	③	④	⑤
関連する本体事業の番号	1、2	1、2	1、2	1、2	1、2
事業名	施設整備に関する計画支援事業	施設整備に関する計画支援事業	施設整備に関する計画支援事業	施設整備に関する計画支援事業	施設整備に関する計画支援事業
事業主体	一宮市	一宮市	一宮市	一宮市	一宮市
事業目的	エネルギー回収型廃棄物処理施設及びマテリアルリサイクル推進施設、ごみ中継施設整備工事のため	エネルギー回収型廃棄物処理施設及びマテリアルリサイクル推進施設整備工事のため	エネルギー回収型廃棄物処理施設及びマテリアルリサイクル推進施設整備工事のため	エネルギー回収型廃棄物処理施設及びマテリアルリサイクル推進施設整備工事のため	エネルギー回収型廃棄物処理施設及びマテリアルリサイクル推進施設整備工事のため
事業概要	施設整備基本計画 PFI等導入可能性調査 環境影響調査	土壌汚染調査	測量・地質調査	発注支援	解体基本計画
環境省所管（循環交付金等）の活用を予定 ※「○」の場合は以下の項目を記載すること	○	○	○	○	○
プラ要件の経過措置	-	-	-	-	-
プラ施設整備事業	-	-	-	-	-
備考					

表4-2 施設整備に関する計画支援事業等

事業番号	⑥	⑦	⑧	⑨	
関連する本体事業の番号	1、2	3	3	3	
事業名	施設整備に関する計画支援事業	施設整備に関する計画支援事業	施設整備に関する計画支援事業	施設整備に関する計画支援事業	
事業主体	一宮市	稲沢市	稲沢市	稲沢市	
事業目的	エネルギー回収型廃棄物処理施設及びマテリアルリサイクル推進施設整備工事のため	ごみ中継施設整備工事のため	ごみ中継施設整備工事のため	ごみ中継施設整備工事のため	
事業概要	解体事前調査 発注支援	地歴調査 解体基本計画	解体事前調査 発注支援	実施設計	
環境省所管（循環交付金等）の活用を予定 ※「○」の場合は以下の項目を記載すること	○	○	○	○	
プラ要件の経過措置	-	-	-	-	
プラ施設整備事業	-	-	-	-	
備考					

表5 現有施設一覧

施設種別	焼却施設	焼却施設	焼却施設及び粗大 ごみ処理施設	リサイクルセン ター	粗大ごみ処理施設	最終処分場	
施設名	一宮市環境セン ター	稲沢市環境セン ター	尾西清掃事業所	一宮市リサイクル センター	稲沢市環境セン ター	一宮市光明寺最終 処分場	
施設所有主体	一宮市	稲沢市	一宮市	一宮市	稲沢市	一宮市	
型式及び処理方式	ストーカ式	ストーカ式	ストーカ式	破碎・選別・保 管・圧縮・梱包	破碎・選別・保管	平面埋立方式	
処理能力(単位)	450 (t/24h)	180 (t/24h)	60 (t/16h)	60 (t/5h)	50 (t/5h)	21,540 (㎡)	
エネルギー回収の有無	有	有	無	—	—	—	
竣工年月	H10.3	H12.3	H4.3	H26.1	H12.3	H16.3	
廃止又は休止(予定)年月	R17.3	R17.3	H25.3	R17.3	R17.3	R14.9	
施設所在地	一宮市奥町字六丁 山52 番地	稲沢市中野川端町 74 番地	一宮市北今字堀田 10 番地	一宮市奥町字六丁 山52 番地	稲沢市中野川端町 74 番地	一宮市光明寺字寅 新田4 番地	
想定される浸水深	浸水深5.0m	浸水深3.0m	浸水深5.0m	浸水深5.0m	浸水深3.0m	浸水深10.0m	
浸水対策	気密性の高いドア	嵩上げ	特になし	気密性の高いドア	嵩上げ	嵩上げ	
交付金を活用した解体を 実施する場合、その交付 条件	関連性・連続性の 解体	跡地利用の解体					
廃焼却施設解体事業 着手(予定)年月	R17.4	R17.4					
完了(予定)年月	R20.3	R20.3					
解体に関連する新設事業番号 ※表3の事業番号	1, 2	1, 2, 3					
備考			2008(平成20)年4月ご み焼却処理施設を休止 2013(平成25)年3月粗 大ごみ施設、保管施設、し 尿施設を休止 現在 車庫棟を利用して資源 回収を実施(土・日曜日)				

## 6 関連するその他の施策

### (1) 地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく

#### ア ごみ減量・リサイクル促進のための施策内容

生ごみの水切りや分別の徹底、食品ロスを出さないような意識、賞味期限・消費期限等について正しい理解が広まるよう周知啓発を行い、リフューズ（不要なものは断る）、リデュース（ごみを減らす）、リユース（繰り返し使う）リサイクル（資源化する）の4Rを推進する。

#### イ プラスチック資源に関する施策内容

プラスチック製品とプラスチック製容器包装を一括で回収することで、効率的な資源化と市民の分別負担の軽減を目指す。  
また、使い捨てプラスチック製品について、できるだけ使用しない生活様式を推奨するなど排出抑制に向けた情報発信を行う。

#### ウ リチウム蓄電池に関する対策

火災事故等を未然に防止するため、リチウム蓄電池等のごみ集積場所での収集、リチウム蓄電池の適正な排出方法等について、周知啓発を積極的に実施する。  
また、処理施設において前処理の徹底や発火検知・延焼防止を図る。

#### エ 事業系ごみに関する施策内容

構成市内全ての事業者がごみの減量・資源化に取り組めるよう、他市の先進事例を調査・研究し、本地域で行うにあたっての効果的な施策について検討する。

#### オ 災害時の廃棄物処理に関する事項

令和3年4月に改定した一宮市災害廃棄物処理計画、令和6年3月に改定した稲沢市災害廃棄物処理計画に基づく取り組みを推進していくとともに、訓練等を通じて円滑・迅速な処理が実現できる実効性の高い体制を構築していく。

なお、稼働予定の新施設においては、災害に強い廃棄物処理システムの構築をめざす。災害発生時にも自己発電電力により運転を継続し、万が一緊急停止した場合においても、電力供給が途絶えた状況から速やかに運転可能な機能を持たせ、地域の防災活動を支援できる施設として整備を進めていく。

さらに周辺市町村と連携し、災害発生時には相互に災害廃棄物の受入処理ができる体制の構築を目指す。

## 7 計画のフォローアップと事後評価

### (1) 計画のフォローアップ

尾張西部地域各市は、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、愛知県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

### (2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

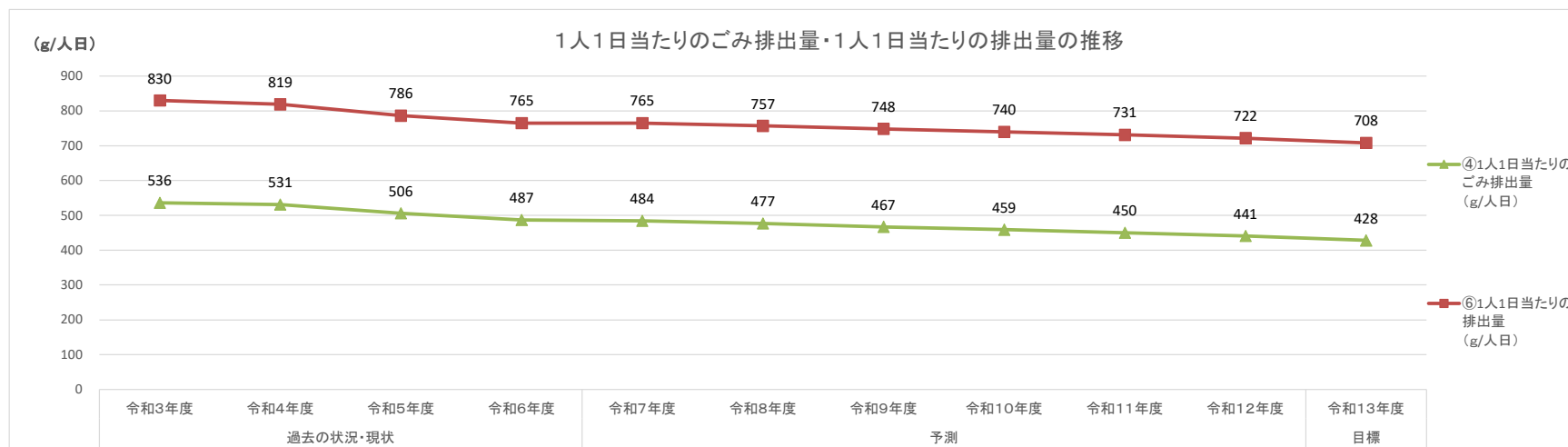
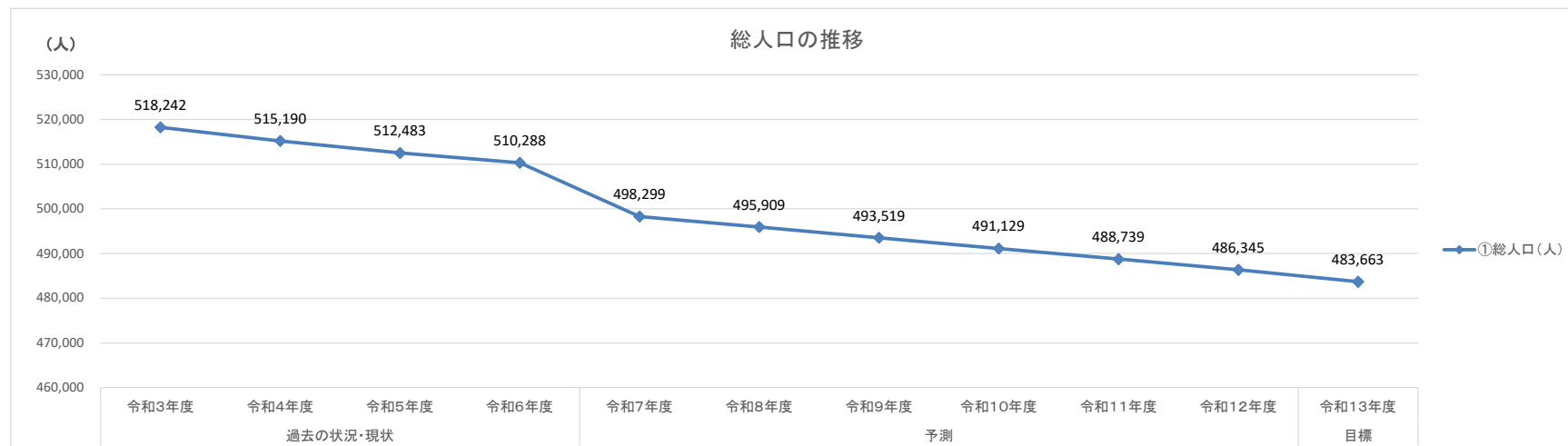
総括表（交付期間における各交付対象事業の概算事業費）

事業種別 施設名称等	事業番号	事業主体名称	規模		事業期間		交付金交付期間		総事業費（千円）		交付対象事業費（千円）						備考		
			単位	開始	終了	開始	終了	複数計画 合算費	現計画での 総事業費	複数計画 合算費	合計	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度			
マテリアルリサイクル推進等のための整備事業									6,156,620	0	5,474,939	0	0	0	0	0	0		
（仮称）尾張西部広域ごみ処理施設 （マテリアルリサイクル推進施設）	1	一宮市	38	t/5h					6,156,620	0	5,474,939	0						0	全体事業期間：R12～R16
エネルギー回収等のための整備事業									51,044,480	0	32,084,920	0	0	0	0	0	0		
（仮称）尾張西部広域ごみ処理施設 （エネルギー回収型廃棄物処理施設）	2	一宮市	392	t/日					48,044,480	0	30,334,920	0						0	全体事業期間：R12～R16
廃焼却施設解体（一宮市環境センター）	2	一宮市							3,000,000		1,750,000	0							全体事業期間：R17～R19
廃棄物運搬中継のための整備事業									2,454,000	0	1,597,216	0	0	0	0	0	0		
（仮称）稲沢市ごみ中継施設	3	稲沢市	7	t/日					674,000		567,216	0							全体事業期間：R15～R16
廃焼却施設解体（稲沢市環境センター）	3	稲沢市							1,780,000		1,030,000	0							全体事業期間：R17～R19
計画支援事業等									248,000	381,332	248,000	364,384	76,854	34,488	180,120	72,922	0		
事業番号1及び2のための計画支援	①	一宮市			R8	R11	R8	R11		280,000		268,915	28,025	34,488	156,800	49,602			
事業番号1及び2のための計画支援	②	一宮市			R8	R8	R8	R8		19,723		13,860	13,860						
事業番号1及び2のための計画支援	③	一宮市			R8	R8	R8	R8		34,969		34,969	34,969						
事業番号1及び2のための計画支援	④	一宮市			R10	R11	R10	R11		46,640		46,640			23,320	23,320			
事業番号1及び2のための計画支援	⑤	一宮市							15,000		15,000	0							全体事業期間：R14
事業番号1及び2のための計画支援	⑥	一宮市							90,000		90,000	0							全体事業期間：R15～R16
事業番号3のための計画支援	⑦	稲沢市							23,000		23,000	0							全体事業期間：R14
事業番号3のための計画支援	⑧	稲沢市							90,000		90,000	0							全体事業期間：R15～R16
事業番号3のための計画支援	⑨	稲沢市							30,000		30,000	0							全体事業期間：R14
合計									59,903,100	381,332	39,405,075	364,384	76,854	34,488	180,120	72,922	0		

一般廃棄物の処理の実績と予測

指標・単位	過去の状況・現状				予測						目標
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	令和13年度
①総人口(人)	518,242	515,190	512,483	510,288	498,299	495,909	493,519	491,129	488,739	486,345	483,663
②事業系ごみ排出量(トン)	29,368	29,563	29,610	29,175	28,900	28,783	28,679	28,586	28,502	28,426	28,356
③生活系ごみ排出量(トン)	122,032	118,952	112,757	108,267	105,288	103,396	101,607	99,255	97,198	95,157	92,390
④1人1日当たりのごみ排出量(g/人日)	536	531	506	487	484	477	467	459	450	441	428
その他排出量(トン)	5,654	5,567	5,058	4,978	4,911	4,862	4,815	4,763	4,714	4,664	4,617
⑤総排出量(トン)	157,054	154,082	147,426	142,420	139,099	137,041	135,101	132,604	130,414	128,247	125,363
⑥1人1日当たりの排出量(g/人日)	830	819	786	765	765	757	748	740	731	722	708
⑦総資源化量(トン)	22,774	20,907	19,488	19,362	18,882	18,802	18,931	18,740	18,607	18,471	18,362
⑧埋立最終処分量(トン)	18,141	17,702	17,622	14,718	14,382	14,150	13,917	13,646	13,409	13,170	12,931
生活系ごみ排出量のうち資源化量(トン)	20,638	19,100	17,856	17,614	17,168	17,093	17,209	17,034	16,914	16,790	16,689
年間日数(日)	365	365	366	365	365	365	366	365	365	365	366

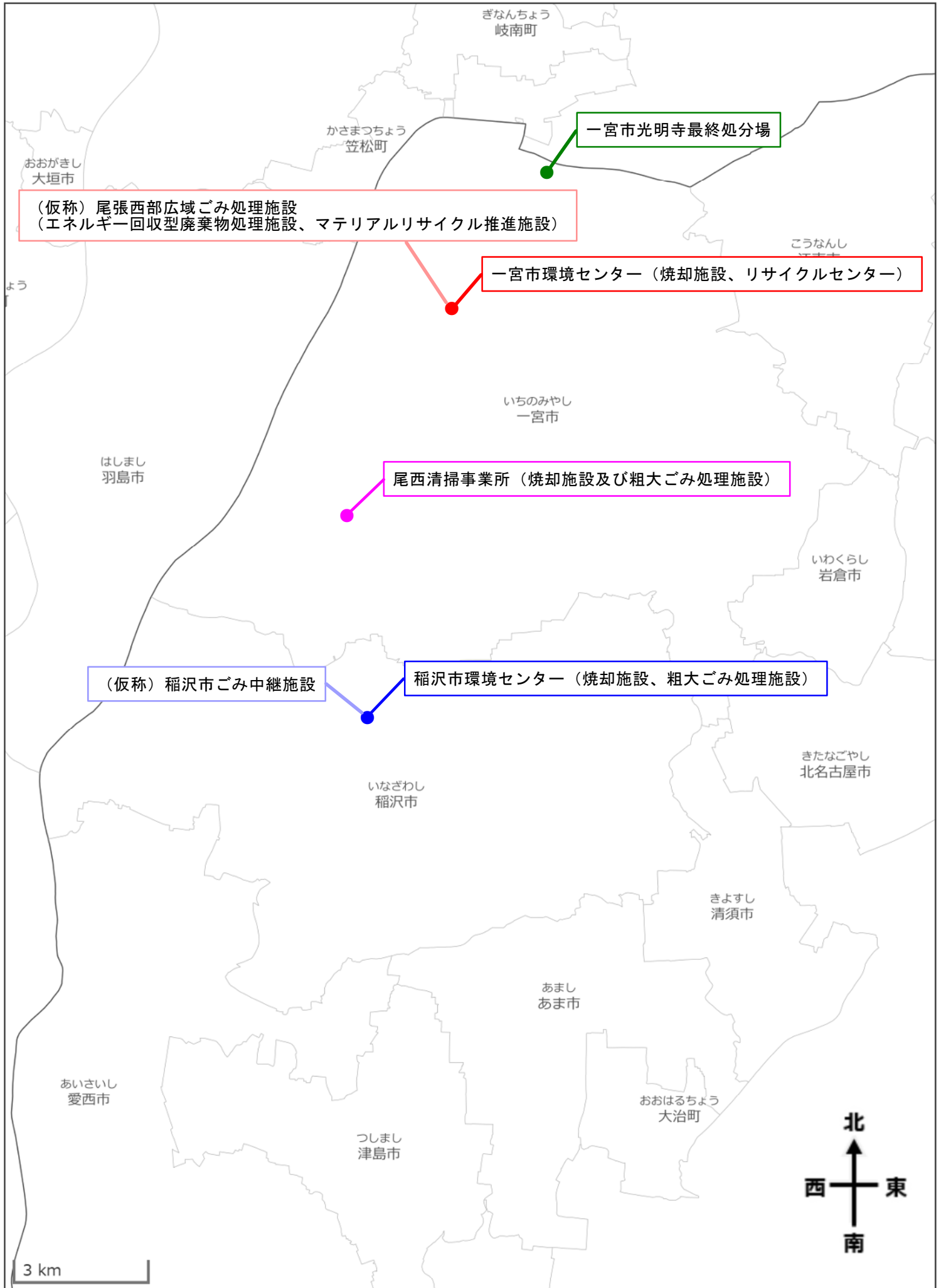




## 対象地域図



# 地域内の施設の現況と予定（位置図）





# 稲沢市 中部版 洪水ハザードマップ

## 洪水ハザードマップについて

このマップは、日光川・新川流域の河川や庄内川、及び木曾川の支川が大雨によって増水し、堤防からあふれたり堤防が壊れて氾濫した場合に想定される浸水の状況や洪水時の避難所など市民の皆さんの避難に役立つ情報をわかりやすくまとめたものです。

### マップの作成方法

●このマップは各流域の想定最大規模降雨(1000年に1回程度発生する確率の大雨)に対するシミュレーションの結果をすべて重ね合わせて作成したものです。

日光川流域:令和7年3月に愛知県が公表した洪水浸水想定区域図 24時間総雨量 713mm  
 庄内川流域:令和2年3月に国が公表した洪水浸水想定区域図 24時間総雨量 578mm  
 新川流域:令和6年11月に愛知県が公表した洪水浸水想定区域図 24時間総雨量 751mm  
 郷瀬川流域:令和6年11月に愛知県が公表した洪水浸水想定区域図 24時間総雨量 790mm

●マップに表示した浸水の広がる範囲や深さは、川の堤防を決壊させた地点での浸水範囲の計算結果を重ね合わせ、最大となる浸水の深さを選び、色分けして表示しています。

## マップの活用法

このマップを活用し、日頃から家庭や地域で水害やその際の避難の方法について話し合ひましょう。

- 自分の住んでいるところがどれくらい浸水する可能性があるのかを知っておきましょう。
  - 最寄りの避難所を確認しましょう。
  - 避難所に行くのにどのような経路があるか調べましょう。
  - このマップはホームページでも見ることができます。
- 詳しくは以下のURLもしくは右のQRコードから確認してください。  
 〈URL〉<http://www.2city.inazawa.aichi.jp/hazardmap/>



## マップの見方と注意事項

マップに示した浸水の広がる範囲や深さは、計算結果によるものであり、雨の降り方によっては、浸水の想定されていない地域においても浸水したり、想定される深さが実際の深さとは異なる場合があります。

## 医療機関一覧

番号	施設名	電話番号
①	稲沢市民病院	0587-32-2111
②	愛知県厚生農業協同組合連合会稲沢厚生病院	0587-97-2131

※表示されている病院は、稲沢市地域防災計画に掲載している救急病院です。

## 避難所一覧

番号	施設名	所在地	電話番号
1	稲沢中学校	正明寺二丁目1番1号	0587-32-2168
2	明治中学校	片原一色町小山1番地	0587-36-1323
3	千代田中学校	福島町比倉田17番地	0587-36-2202
4	大里中学校	奥田寺切町69番地	0587-32-2036
6	稲沢西中学校	稲沢町前田365番地10	0587-23-1311
9	稲沢西小学校	稲葉五丁目9番1号	0587-21-1047
10	清水小学校	清水寺前町126番地	0587-36-0401
11	片原一色小学校	一色中屋敷町64番地	0587-36-0264
12	国分小学校	矢合町三島屋敷3440番地	0587-36-2119
13	千代田小学校	福島町比倉田102番地	0587-36-2203
14	坂田小学校	坂田町狐沢18番地	0587-36-0621
15	大里西小学校	奥田針用町107番地	0587-32-2032
18	大塚小学校	大塚北九丁目68番地	0587-21-5955
19	稲沢北小学校	稲葉三丁目58番地	0587-23-1555
20	高御堂小学校	高御堂十丁目3番1号	0587-23-2020
22	総合体育館	朝府町5番1号	0587-23-2944
23	勤労福祉会館 多目的ホール	朝府町5番1号	0587-23-2944
24	稲沢緑風館高等学校	平野町加世11番地	0587-32-3168
25	旧稲沢東高等学校	大塚南六丁目33番地	
26	名古屋文理大学 文化フォーラム(稲沢市民会館)小ホール	正明寺三丁目114番地	0587-24-5111
30	領内小学校	祖父江町二俣上川原706番地	0587-97-0246
38	三宅小学校	平和町下三宅北出1番地	0567-46-0503

## 地図の見方

- 市町村界
- 官公庁施設
- 避難所
- 医療機関
- 冠水しやすい危険な箇所(地下道・高架下)
- 国道・県道
- 家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

## 洪水により水の浸かる深さ

- 5m~10m未満の区域
- 3m~5m未満の区域
- 0.5m~3m未満の区域
- 0.5m未満の区域

## 官公庁施設一覧

番号	施設名	所在地	電話番号
3	明治市民センター※	中野宮町48番地	0587-36-1074
4	千代田市民センター※	福島町中浦25番地	0587-36-2305
5	大里市民センター※	奥田中切町60番地1	0587-32-2001
8	稲沢市民センター※	稲葉二丁目11番5号	0587-24-1810
10	稲沢市役所	稲府町1番地	0587-32-1111
11	消防本部 消防署	船橋町鯉坪321番地1	0587-22-0119
14	消防署 平和分署	平和町中三宅高道34番地	0567-46-3411

※自主避難所として使用可

木曾川が氾濫した場合はより深く、広く浸水する可能性があります。詳細は裏面をご確認ください。

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)  
 河川が氾濫すると洪水の間に河岸が崩れるおそれがある区域があります。

●二階建ての家をイメージしています。

### 洪水により水の浸かる深さ

- 浸水5.0m: 5.0~10.0m未満の区域
- 浸水3.0m: 3.0~5.0m未満の区域
- 浸水0.5m: 0.5~3.0m未満の区域
- 浸水0.5m: 0.5m未満の区域